

放射線治療担当技師 殿  
関係各位

平成 24 年 11 月 吉日

公益社団法人日本放射線技術学会中部部会  
北陸放射線治療研究会 代表世話人 西島 昭彦  
企画当番 石川県

## 第 37 回北陸放射線治療研究会開催のご案内

今

回の研究会のテーマは、放射線治療計画用コンピュータの中身について理解を深めようということで、「エレクトラ株式会社カスタマーサービス部物理グループ」より和田数幸、平井奈々子先生を講師にお招きして、同社の治療計画用システム「XiO」を例として下記 2 本の講演をいただきます。

日 時：平成 25 年 1 月 26 日（土）午後 2 時～5 時

場 所：金沢大学 医薬保健学域 保健学類 4 号館 4102 号室

（ <http://mhs3.mp.kanazawa-u.ac.jp/others/map.html> を参照ください）

内 容：

1 部：「PDD と放射線基礎物理」

概要： 放射線治療には、放射線基礎物理の知識が深く関連しています。しかし、理論と実際の治療の現場はなかなか結びつきにくいものです。講義を通して理論と線量分布がどのように関係しているのか理解を深めましょう。

放

放射線基礎物理が作り出す数多くの性質の中で、今回はもっとも重要な PDD（Percentage Depth Dose：深部量百分率）に内容を絞って、じっくり考えてみたいと思います。

2 部：「治療計画システムについて～線量計算ソフトウェアのメカニズム～」

概要： 放射線治療技術の進歩とともに、治療計画装置（RTPS）には新しい機能の追加、改良が繰り返されてきました。計算精度や誤差は、線量計算アルゴリズムに依るもの、コンピュータ処理のために患者さんや Beam、線量データなどをデジタル化することによって必然的に生じるもの、によって決まります。今回は XiO を例にとって、どのように線量分布や MU が計算されているのか、線量計算アルゴリズムと言われる物理概念がどのように組み入れられているのか、RTPS に必要な入力データがどのように反映されているのか、といった線量計算ソフトウェアのメカニズムについてご説明します。

な

お、日本放射線技術学会会員以外の参加については、会場・資料代として 500 円を徴収します。

連絡先・問い合わせについては

JSRT 中部部会 北陸治療研究会 世話人

金沢大学医学部附属病院 放射線部 上田 伸一  
sirokuma@med.kanazawa-u.ac.jp